

●香川県告示第99号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定に基づく特定施設の設置の許可の申請があったので、同条第4項の規定によりその概要を次のとおり告示する。

なお、この特定施設を設置することが環境に及ぼす影響についての調査の結果に基づく事前評価に関する事項を記載した書面を次のとおり縦覧に供する。

平成22年3月16日

香川県知事 真 鍋 武 紀

1 申請の概要

(1) 申請者の住所及び名称並びに代表者の氏名

仲多度郡琴平町623番地

西野金陵株式会社 代表取締役社長 西野 武明

(2) 事業場の所在地及び名称

仲多度郡多度津町葛原1880-1

西野金陵株式会社多度津工場

(3) 特定施設に関する事項

設置しようとする特定施設

種	類	飲料製造業の用に供する原料処理施設	
能	力	①3 t/時 1基、②6 t/日 1基	
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後直ちに	
	工事完成予定年月日	着工後1月	
	使用開始予定年月日	完成後直ちに	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		①連続2時間30分使用、②連続1時間30分使用	
排 出 さ れ る 汚 水 等 の 汚 染 状 態	項 目	通 常	最 大
	水素イオン濃度	①6.8、②7.0	①5.8~7.5、②6.0~7.8
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	①1,900、②650	①2,400、②800
	化学的酸素要求量 (mg/l)	①1,650、②550	①1,800、②610
	浮遊物質 (mg/l)	①1,650、②550	①2,100、②720
	窒素含有量 (mg/l)	①15、②5	①18、②6
	りん含有量 (mg/l)	①1.0、②0.3	①1.2、②0.4
排出される汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)		①30、②15	①30、②15

種	類	飲料製造業の用に供する洗浄施設	
能	力	7,000本/時	
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後直ちに	
	工事完成予定年月日	着工後1月	
	使用開始予定年月日	完成後直ちに	
使用時間間隔及び1日当たりの		断続7時間使用	

使用時間			
排出される汚水等の汚染状態	項目	通常	最大
	水素イオン濃度	9.0	5.8~11
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	160	190
	化学的酸素要求量 (mg/l)	75	90
	浮遊物質 (mg/l)	3.0	6.0
	窒素含有量 (mg/l)	1.0	2.3
	りん含有量 (mg/l)	0.1	1.0
排出される汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)		65	75

種	類	飲料製造業の用に供するろ過施設	
能	力	①3,328L/日 1基、②52,000L/日 1基 ③3,536L/日 1基、④1,040L/日 1基 ⑤180,000L/日 1基、⑥45,000L/日 1基	
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに	
	工事完成予定年月日	着工後1月	
	使用開始予定年月日	完成後直ちに	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		①連続20時間使用、②⑤連続4時間使用、③連続9時間使用 ④連続20時間使用、⑥連続5~6時間使用	
排出される汚水等の汚染状態	項目	通常	最大
	水素イオン濃度	①②③④⑤⑥6.8、⑥6.3	①③④⑤5.8~6.8 ②⑤5.8~7.8、⑥6.0~6.8
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	①③④1,200、②⑤90 ⑥1,070	①③④1,890、②⑤110 ⑥1,280
	化学的酸素要求量 (mg/l)	①③④760、②⑤60、⑥470	①③④890、②⑤120、⑥560
	浮遊物質 (mg/l)	①③④740、②⑤35、⑥8	①③④890、②⑤140、⑥10
	窒素含有量 (mg/l)	①③④17、②⑤4、⑥6.1	①③④54、②⑤5、⑥7.3
	りん含有量 (mg/l)	①③④2、②⑤⑥0.1	①③④3.5、②⑤⑥0.2
排出される汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)		①35、②10、③⑤30、④12 ⑥6	①35、②10、③⑤30、④12 ⑥6

種	類	飲料製造業の用に供する蒸りゆう施設	
能	力	①100kg/回 1基、②1,000L/回 1基	
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに	
	工事完成予定年月日	着工後1月	
	使用開始予定年月日	完成後直ちに	
使用時間間隔及び1日当たりの		①連続4時間使用、②連続3時間使用	

使用時間			
排出される汚水等の汚染状態	項目	通常	最大
	水素イオン濃度	7.0	6.0~7.8
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	5	6
	化学的酸素要求量 (mg/l)	5	6
	浮遊物質量 (mg/l)	3.0	3.5
	窒素含有量 (mg/l)	1	1.5
	りん含有量 (mg/l)	0.2	0.3
	排出される汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)	①1、②14	①1、②14

変更しようとする特定施設

種	類	飲料製造業の用に供する原料処理施設	
能	力	12 t / 日 1基	
工期等	工事着手予定年月日	既設	
	工事完成予定年月日	既設	
	使用開始予定年月日	許可後直ちに	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		(変更前) 連続3時間使用 (変更後) 連続2時間30分使用	
排出される汚水等の汚染状態	項目	通常	最大
	水素イオン濃度	6.8	(変更前) 5.8~6.8 (変更後) 5.8~7.5
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	(変更前) 2,000 (変更後) 1,900	(変更前) 2,500 (変更後) 2,400
	化学的酸素要求量 (mg/l)	(変更前) 1,500 (変更後) 1,650	1,800
	浮遊物質量 (mg/l)	(変更前) 1,500 (変更後) 1,650	(変更前) 1,800 (変更後) 2,100
	窒素含有量 (mg/l)	15	18
	りん含有量 (mg/l)	1.0	1.2
排出される汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)		(変更前) 40 (変更後) 30	(変更前) 40 (変更後) 30

種	類	飲料製造業の用に供するろ過施設	
能	力	①(変更前) 3,000L / 日 (変更後) 3,542L / 日 1基 ②(変更前) 3,000L / 日 (変更後) 3,542L / 日 1基	
工期等	工事着手予定年月日	既設	
	工事完成予定年月日	既設	
	使用開始予定年月日	許可後直ちに	
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		連続9時間使用	
排出さ	項目	通常	最大

れる汚 水等の 汚染状 態	水素イオン濃度	(変更前) 6.5 (変更後) 6.8	(変更前) 6~7 (変更後) 5.8~6.8
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	(変更前) 300 (変更後) 1,200	(変更前) 400 (変更後) 1,890
	化学的酸素要求量 (mg/l)	(変更前) 180 (変更後) 760	(変更前) 230 (変更後) 890
	浮遊物質 (mg/l)	(変更前) 80 (変更後) 740	(変更前) 100 (変更後) 890
	窒素含有量 (mg/l)	17	54
	りん含有量 (mg/l)	2	3.5
	排出される汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)	①②30	①②43

(4) 汚水等の処理施設に関する事項

種	類	洗米排水処理装置			
能	力	60m <sup>3</sup> /日			
汚水等の処理方式		凝集沈殿+回転ばっ気方式			
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後直ちに			
	工事完成予定年月日	着工後1月			
	使用開始予定年月日	完成後直ちに			
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		(凝集沈殿装置) 連続3時間使用 (回転円板処理装置) 連続24時間使用			
処理前 及び処 理後の 汚水等 の汚染 状態	項 目	処 理 前		処 理 後	
		通 常	最 大	通 常	最 大
	水素イオン濃度	6.8	5.8~7.5	7.0	6.0~8.0
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	1,900	2,400	200	220
	化学的酸素要求量 (mg/l)	1,650	1,800	150	200
	浮遊物質 (mg/l)	1,650	2,100	120	200
	窒素含有量 (mg/l)	15	18	7.5	9.0
りん含有量 (mg/l)	8.0	9.0	4.0	4.5	
排出される汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)		(変更前) 40 (変更後) 60	(変更前) 40 (変更後) 60	(変更前) 40 (変更後) 60	(変更前) 40 (変更後) 60

種	類	洗瓶施設排水処理装置			
能	力	20m <sup>3</sup> /時			
汚水等の処理方式		中和処理+砂ろ過			
工 期 等	工事着手予定年月日	既設			
	工事完成予定年月日	既設			
	使用開始予定年月日	許可後			
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		7時間使用 (洗瓶施設運転時)			

処理前及び処理後の汚染状態	項目	処理前		処理後	
		通常	最大	通常	最大
	水素イオン濃度	9.0	5.8~11	7.5	6.0~8.0
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	160	190	120	140
	化学的酸素要求量 (mg/l)	75	90	50	60
	浮遊物質 (mg/l)	70	140	50	100
	窒素含有量 (mg/l)	1.5	2.0	1.0	1.5
	りん含有量 (mg/l)	1.0	2.0	0.5	1.0
	排出される汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)	65	75	65	75

種	類	総合排水処理施設			
能	力	容量200m <sup>3</sup>			
汚水等の処理方式		固定ろ床接触酸化方式+加圧浮上式			
工期等	工事着手予定年月日	既設			
	工事完成予定年月日	既設			
	使用開始予定年月日	許可後			
使用時間間隔及び1日当たりの使用時間		連続24時間使用			
処理前及び処理後の汚染状態	項目	処理前		処理後	
		通常	最大	通常	最大
	水素イオン濃度	7.5	6.5~8.0	6.5	6.0~8.0
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	120	160	40	55
	化学的酸素要求量 (mg/l)	100	130	50	65
	浮遊物質 (mg/l)	60	120	30	60
	窒素含有量 (mg/l)	3.5	7	2.5	5.0
	りん含有量 (mg/l)	1.5	5.0	1.0	3.5
	大腸菌群数 (個/cm <sup>3</sup> )	10	400	0	200
	排出される汚水等の量 (m <sup>3</sup> /日)	380	450	380	450

(5) 排出水の汚染状態及び量

排出水の汚染状態	区分	第1排水口	
		通常	最大
	水素イオン濃度	6.5	6.0~8.0
	生物化学的酸素要求量 (mg/l)	40	55
	化学的酸素要求量 (mg/l)	50	65

浮遊物質	(mg/l)	30	60
窒素含有量	(mg/l)	2.5	5.0
りん含有量	(mg/l)	(変更前) 3 (変更後) 1.0	(変更前) 4 (変更後) 3.5
大腸菌群数	(個/cm <sup>3</sup> )	0	200
排出水の量	(m <sup>3</sup> /日)	380	450

他に雨水排水口が13箇所（新設6箇所）ある。

（備考）今回特定施設を設置するが、一部既設特定施設を廃止すること及び特定施設の運転時期の状況から、排出水の量に変更はない。なお、一部の項目について、実測データ等から見直しを行ったため、汚染状態が減少する。

## 2 縦覧の期間及び場所

### (1) 期間

平成22年3月16日から同年4月6日まで

### (2) 場所

香川県環境森林部環境管理課

多度津町環境課